

結果 令和2年度『三原つなぎ・つながる支援ガイド』改訂に向けたアンケート

●三原市内の各事業所でお勤めのみなさまへ

令和2年9月1日～10月10日に実施したアンケートでは、多くの貴重なご意見をお寄せいただき、ありがとうございました。

結果を踏まえて、新訂4版の作成に取り組み、また、他団体との連携に努めていきます。

引き続き、本事業へのご支援のほどよろしくお願いいたします。

*回収数：**308件**（配本希望 **190冊**）



『三原つなぎ・つながる支援ガイド』改訂に向けたアンケート

Q1 相談支援に必要な情報を普段どのように収集していますか。（複数回答可）

- 『三原つなぎ・つながる支援ガイド』から **177** 本書の配本希望を2枚目で受け付けています。
- 三原市が発行する冊子 **161**
- インターネット **194**
- 市販の本 **18**
- 他者・他機関からの情報 **149**
- 窓口等への問い合わせ **115**
- その他 (**9** 教育委員会、子育て世代包括支援センター、民生委員、病院、三原市(高齢者福祉課) 自法人内事業所からの情報、職場内他課からの情報、自立支援協議会、蔵書、こころのガイドブック、介護・保健・福祉事業の手引きなど)

Q2 本書でよく利用する章に○をつけてください。（複数回答可）

ガイドブック編 **345**

- 第1章 病気やけがをしたとき **(27)**
- 第2章 子育て・障害のある児童の支援 **(40)**
- 第3章 成人・障害のある人の支援 **(99)**
- 第4章 高齢者(65歳以上)の支援 **(125)**
- 第5章 地域住民向けの事業 **(54)**

事業所マップ・一覧編 **380**

- 第6章 医療機関 **(133)**
- 第7章 医療機関デイケア **(41)**
- 第8章 障害福祉サービス事業所 **(89)**
- 第9章 高齢者サービス事業所 **(117)**
- 付録 資料編 **7**
- 利用したことはない **50**

Q3 本書の改訂に向けた改善点やご要望、工夫できることを自由に記入してください。

(抜粋して掲載します)

【1】内容追加への意見

- ・きりはなしができるマップがあればいいか？
(冷蔵庫にはる様なもの)
- ・イラストを多くして欲しいです。
- ・主要施設や相談センターの電話番号等を纏め、

- ミニ冊子やポスターにして各家庭に配布。(いざという時に自宅があればいいなと思った)
- ・浴槽のタイプが分かれば、施設入所検討に役立つと思います。
- ・施設毎に出入り制限に違いがあり、利用者さ

ん毎に面会可否が違う事あり、訪問の難しさを感じました。

- ・医療機関一覧(病院、診療所)のページに英語対応が可能かチェックが欲しい。
- ・施設入所の費用が分かると助かります。
- ・よくある質問(Q&A)を掲載してはどうか。
- ・交通機関(タクシー)の情報ページがほしい。
- ・2017年版の2色版がよかった。以前より内容が詳しく掲載されていると思う。地域子育てサロン名があったら、子育て中の方の参考になると思う。
- ・三原市北部地区は、市内よりも世羅の施設情報が必要な事が多く、世羅の情報も記載してあれば助かります。
- ・事業所マップ・一覧編での所在地の所へ、郵便番号を掲示して頂きますと、大変助かります。ぜひよろしく願います。
- ・地域資源のよりくわしい情報(写真付など)(時刻表とか)。タイトルの文字、表紙の絵など、アート作品や手にとりやすい明るいものが良い
- ・各施設の郵便番号があれば便利です。
- ・認知症の独居の方の金銭管理の方法や手段について、かけはしや成年後見制度以外の情報を知りたい。
- ・事業所のHPのURLやメールアドレスも追加したほうが良いのではないか。
- ・すべての施設をあいいうえお順にならべた索引。
- ・高齢者サービス事業所一覧(デイサービス等)において、要支援の方、要介護の方を比べた時、利用時間に違いがある場合は提示していただけるとありがたい。記載のあるところとないところがあるため。
- ・事業所の情報がさらに詳しく分かるように、QRコードを活用し、ホームページ等につながるようにする。
- ・医療機関の在宅医療の特色へ、訪問看護(精神科含む)を加えては!!
- ・一般科と精神科の訪問看護ステーションを解りやすく区分しては!!
- ・相談先窓口が三原市の各担当課の場合も、連絡先(電話番号)が記載してあると調べる手

間がはぶけて助かります。

- ・医療機関の住所、電話番号を調べたり、確認する時に良く活用していますが、病院長先生の名前にふりがながあると助かります。
- ・市内各地域におけるサロン活動状況、内容、マップなどの情報提供。
- ・索引があるとわかりやすい。
- ・インフォーマルサービスの充実と支援
- ・外国人労働者への対策
- ・災害時の福祉避難所について、施設が一覧されていてわかりやすいが、住所は掲載されていますが、電話番号ものせてもらえたら見やすいと感じた。
- ・パソコンやスマートフォンで確認できるようにしてほしい。【注】ホームページでPDFを公開しています】
- ・近年、災害が増えてきています。ハザードマップや災害種別ごとの避難先等、住んでいる地域ごとにわかりやすく記載して頂けるとありがたいと思います。(福祉避難所についての記載、大変有り難いです)

【2】文字サイズや配色に関する意見

- ・「もう少しフォントを大きくする」「ふりがなをつける」をすれば、より多くの方に満足いただけるかなと思います。
- ・よくまとめられて、知りたい情報が見つかりやすくなっています。日々利用する本ではありませんが、いざという時に頼りにする本です。改善点は人によってマップの字の大きさが小さく、見えにくいかもしれません。
- ・文字のポイントを大きくして欲しい。
- ・字を大きくしてほしい。
- ・紙面の都合上字が大きくできないので、字を濃くしてはいかがでしょうか。少しうすくて読みにくい点が改善できたら。

【3】本のサイズに関する意見

- ・サイズを小さくしてほしい
- ・持ち運びが思いのため、軽くなるとありがたいです。
- ・事業所マップ・一覧編は別冊・小冊子にして

もらえると検索しやすいです。

- ・持ち歩き出来る薄さにまとまっていると有難いです。
- ・もう少し小型化や軽量化すると、もっと使いがってがいいかもしれません。
- ・内容を簡素にして（小さくして）、読みやすい方が良いと思います。相談窓口がどこかわかる程度でよいのではないかと思います。
- ・コンパクトなサイズにしてほしい。
- ・ガイドブック編と事業所マップ一覧編に分冊してもらえると、軽くなって使い易い
- ・もう少し軽くて薄いと持ち運びしやすい
- ・A4 サイズでコンパクトにしてほしい
- ・情報がわかりやすくまとまっているのでわかりやすいが、持ち運ぶには重たく不便。ネットで見ることはできないか。
- ・本のサイズを小さくしてほしい。
- ・装丁を簡素化して、薄い冊子にして、文字を大きく見えやすくわかりやすい手に取りやすいようにしてほしい。
- ・新型コロナウイルス感染疑いがある場合の発熱時の診察対応が最寄りの病院でどこで出来るか等の表やマップがあればいい。
- ・ガイド本が重すぎる。もう少し薄く持ちやすい本がいい。
- ・持ち運びしやすいサイズだと更に活用しやすいです。

【4】更新全般に係る意見

- ・可能なのであれば、PDF 化したデータの公開もして下さったら、多様な方が空くアクセスしやすいと思います。また、その際には、ルビをふったりと LD や外国の人などへの配（文章がここで切れている）【注】ホームページで PDF を公開しています】
- ・第 2 版から利用させて頂いております。第 3 版がさらに利用しやすくなりました。本書の利用を幅広い方にしていただくため、配布単位（施設、病院、学校以外にも）を拡げて頂けたらと思います。
- ・幅広い内容で良いが、当方の業務での使用では幅広い分ポイントが探しづらく、ガイドを

提供する相手を選ぶ必要があると思います。

（高齢者事業所）

- ・本書をよく利用しています。ただ、リアルタイムの情報でないのが残念です。同じような内容のホームページはあるのでしょうか。あればいいと思います。
- ・項目別に詳しく記載してあり、すごく役立っており、非常に助かっています。更新は必要だと思しますので、継続して発刊をお願いします。
- ・クリニック等、地図にあげられた番号順なので仕方ないと思うが、あいうえお順のものもあれば助かる。（結局、ネットで検索してしまう）
- ・事業所を選ぶ時にセールスポイントを参考にするが、空白の事業所があるので記入してもらうように呼びかけをしてはどうでしょうか。
- ・最新の情報を入手できるように IT の活用
- ・三原市障害者プランの改訂年度に合わせてでも良いと思います。毎年は不要
- ・介護改正が行われる 4 月頃発行して頂けると良いと思います。
- ・インターネットでも見れるようになると良い。（最新情報が見れる）
- ・専門用語を分かりやすく説明してるとよいのでは。困っているけど、どこを調べたらよいか分からないので、こんな時はこのページみたいなのがあるとよい。
- ・さしかえ出来る冊子のスタイル。
- ・インターネットで見れるようになれば良い。
- ・Web での情報提供はありませんか？本を持ち歩くより、スマホを持ち歩きたいので。
- ・通所サービスのサービス提供地域が本の内容と実際の送迎できる地域とは違っていたので、利用者が希望しても利用ができなかった。
- ・行政機関のみではなく、一般家庭への配布
- ・基本となることを調べたりでは活用しますが、専門職向けの色が強いので、もう少し当事者や家族に説明する時にもつかえるよう、表現をかみくだいたり、視覚的にも分かりやすいとうれしいです。
- ・さくいんをもう少しスッキリとして欲しい

- ・改訂の間隔がもう少し長く、3年？4年？でも良いと思う。事業所マップ一覧はWEBへも入れてあると良いと思う。
- ・各家庭に1冊ずつ無料配布すると便利だと思う。
- ・年に1回程度、新しい事業所、閉院・開院、休止施設などの情報がまとめてでもいいので、追加情報で発行されるとよい。
- ・情報がコンパクトにまとめられているので、わかりやすいと思う。イラストや写真もちりばめられているので、見やすいと思う。1つ1つの団体や組織を具体的に知りたいが、情報量が莫大になると思うので、多くは望めないため、必要とされる情報がのっているなら良いと思う。
- ・内容が多いが、使うところは限られているので、分けた方が良いのではないか。特にガイドブック編は開くことがない。
- ・随時変わる情報への対応が難しいのではないか。
- ・紙ベースの書籍として存在することと、データがアップされていてアクセスしたら情報にたどりつけることの両方がバランスよく出来る状況にあるとありがたいです。
- ・病院一覧が分野別（小児科、精神科等）になっていると調べやすいと感じました。
- ・ガイドブックはそれぞれの課で発行されたものが詳しいので、そちらを見ることが多い。マップは使うことがあるが、送付物のとき、郵便物がないので、いちいち調べるのが大変。
- ・見やすいと思います。
- ・ご本人、ご家族にも渡せるようになるとより良い。
- ・ほとんど利用していません。限られた分野で目的のものがはっきりしている場合には、インターネット等の方が早く調べられるから。
- ・たくさんの情報があるので、その時々で気になることを調べるのには助かります。ただ、たくさんありすぎて、まだ読めていません…。
- ・若い患者様（後遺症、障害が残る）が増えて来て、介護保険ではなく、障害福祉の利用が必要となる事例が増えているので、情報を頂けて助かります。
- ・学校にとどけてくださるので、学校教育運営に活用しています。
- ・大変素晴らしい取組だと思います。編集等大変な作業とは思いますが、定番化できる様、活動継続を希望します。（三原市の福祉活動の財産として）
- ・情報をネットでみえる形にさせていただくと、持ち運びがしやすいです。
- ・投稿やコメントができると使い方に幅が広がると思います。
- ・十分すぎる情報で参考になります。
- ・「三原つなぎ・つながる支援ガイド」が有る事知らなかった。どこで頂けばいいのですか？
- ・学校において、三原市教育委員会を通して、各行政部局や関係機関と相談・連携していません。保護者から情報を求められた時、活用しようと考えておりますが、現在のところその事象は起きておりません。
- ・索引もあり、見やすいと思います。
- ・たくさん情報が載っているのでありがたい。
- ・相談の時に利用しています（参考にしています）
- ・多種に渡り記載があるため、手軽に利用できる。マップについては、活動範囲が世羅町・御調町となる為、利用不（マップ etc）
- ・活用させてもらっています。
- ・大変、見やすいと思います。
- ・改訂に改訂を重ねられ中味が濃いく深いものになっている貴重なこのガイドを、市民の方

[5] 感想

- ・とてもよくまとめられていると思います。
- ・必要な情報が網羅されているので業務上助かっている
- ・事業所内においてあることはわかっているが、活用する場面になるとインターネットを利用している。
- ・情報量が多いため重宝しているが、その一方でごちゃごちゃしているのでほとんど利用しない。三原市が発行する冊子位が調度良い。
- ・改善点はありません。

は知っておられるのでしょうか。(知らずに言
って申し訳ないのですが…) 各戸に配布して
もらえれば保護者も喜ばれると思います。

- ・大変分かりやすいです。
- ・ネット環境の中、知りたい事、分からない事
を調べることの出来るガイドがある事をみん

なに知ってもらった方が良いのではと思いま
す。

- ・三原市内の事業所一覧があり、活用させて頂
いている。
- ・2019年10月版はしっかり使ってみたくと思
います。

Q4 あなたが三原市内で働くなかで感じる地域の課題や、支援を行う上で困りやすい状況を、
最大5つまで教えてください。

<Q4の記入例>

地域資源が不足している場合

- ・三原市北部では、産婦人科・小児科の不足がある。人工透析患者の通院手段が限られており、タクシーや高齢ドライバーとなってい
る。訪問診療をカバーするエリアの限界がある。

相談先や受入れ先が不明

- ・医療的ケア児、若年性認知症、外国語、8050問題（中高年ひきこもり）の対応ができる機関が分からない。

制度で補いきれていない場合

- ・介護予防の観点から、より若い層が利用できる機会が必要。男性介護者のフォローアップ。
- ・障害者手帳は持っているが支援につなげていない人への関わりをどうするか。

必要な情報が足りない場合

- ・糖尿病食等の配食サービスの情報が欲しい。
- ・施設入所実際に必要な費用が分かりにくい。
- ・増える災害、新型コロナウイルスに備えた対策に課題がある。

など

(抜粋して掲載します)

1章 医療

- ・医療機関の在宅医療の特色へ、訪問看護（精
神科含む）を加えては!!
- ・一般科と精神科の訪問看護ステーションを解
りやすく区分しては!!
- ・人工透析患者の通院手段や入所施設の検討が
困難
- ・医療機関一覧(病院、診療所)のページに英語
対応が可能かチェックが欲しい。
- ・医療機関の住所、電話番号を調べたり、確認
する時に良く活用していますが、病院長先生
の名前にふりがながあると助かります。
- ・人工透析患者の通院手段が限られており、高
齢ドライバーやバス・JRを乗り継いで行かな
ければならない。
- ・透析患者や独居老人への食事面でのサービス
も今後の大きな課題。
- ・医療的な処置が必要な方（点滴、気管切開、
吸引、酸素）は施設入所が決まりにくい。
- ・人工透析を予定されている高齢者が、週2～
3回の通院が困難と相談された。通院用の巡

回バスがあればいいと思う。

- ・病院受診が出来ていない人の支援。
- ・高齢になり、車を運転できなくなり、病院・
薬局の方までこれなくなって、どうしようも
ない方もおられます。お手軽に配達を頼むこ
とができるシステムがあれば助かります。
- ・外国人労働者などが受診された際、母国語や
第2言語が英語でない場合、ことばが通じに
くく困ったことがある。通訳などの派遣があ
ると患者も安心して受療できるのではないで
しょうか。
- ・外国人の方から、どこの病院・薬局が英語対
応できるかホームページ等に記載して欲しい
と言われた。
- ・訪問診療が可能なエリアに限界がある。
- ・薬局（地元に昔からある）をもっと利用して
もらいたい。
- ・依頼は義歯不調、修復物の脱落、歯の痛みな
どが多くて、口腔ケアや嚥下障害などの依頼
が少なく、歯科に対して求められていない
と感じます。

- ・デイケア利用の費用が分かりにくい。
- ・病院一覧が分野別（小児科、精神科等）になっていると調べやすいと感じました。
- ・人工透析をしている患者の長期療養が出来る病院が少ない。
- ・産婦人科の不足、小児科も夜間受け入れも現状少ない。
- ・産科が少ない。（不足している）
- ・三原市内でお産できる施設が限られており、産後のフォローも周辺の市町村に頼らなくてはいけない。
- ・吸引が必要な人など、医療度の高い人が在宅以外で過ごす場所を探すのに困る。家族への指導。在宅での受け入れは難しい。
- ・本人が受診を拒否することで家族が抱え込んでいるケースをよく聞く。訪問など、支援体制が充実できれば。
- ・大和町など交通の不便なところに住んでいる人の通院方法
- ・市内の病院とはだいぶ連携がとりやすくなってきたが、市外の病院とは連携がとりにくいことがある。（顔・名前も知らないのと、そもそも連携担当者いるのかも不明）
- ・病院にかかる前の段階の場合、どこに相談していいかわからない。
- ・透析患者の通院手段の限界。
- ・独居や高齢夫婦の世帯が多いため、退院支援が困難な時がある。
- ・困ったらとりあえず入院。入院したらできるだけ入院しておきたい。昔はできたと言われる。
- ・仕事上、土日に大会の救護に行くことがありますが、土日祝の救急外来の施設がどこにあるかわかりにくいと思います。また、大和や久井地域の救急はどうしたらいいかわからないと思っています。
- ・本院にも問題があると思うが、在宅の訪問依頼が少ない気がします。（歯科）
- ・治療意欲のないアルコール依存症の患者またその家族への支援
- ・高齢者独居、身元引受人が居ない人や家屋状況が悪いなどを理由に退院をすすめられない

- ケースがある。
- ・医療・介護サービス内容、現状・今後の課題など、医療・介護従事者と一般の方で、共通認識が出来ていない。
- ・小児てんかん患者さんが成人になって以後の受療先が少ない。受入れ先の情報が少ない

2章 児童

- ・医療的ケア児のサポート機関がわかりにくい。
- ・2017年版の2色版がよかった。以前より内容が詳しく掲載されていると思う。地域子育てサロン名があったら、子育て中の方の参考になると思う。
- ・児童の支援施設の情報が分かりにくい。（いつの間にか無くなっている）
- ・不登校児童生徒の対応機関が周知されていない。
- ・市内の医療機関の情報として、アレルギー疾患、発達障害、肥満、不登校等の対応が可能な医療機関がわからない。
- ・特別な支援を必要とする子どもへの支援の仕方について。
- ・障がい児のショートステイ、レスパイト入院先が少ない。
- ・放課後児童クラブの支援員という職業があることが周知されておらず、支援員不足である。
- ・教育上、配慮のいる児童がどの機関にかかったらいいか迷うことがある。
- ・介護老人の家庭訪問で、家族の児童・生徒の不登校がいた場合の、地域・機関等の連携不足。
- ・児童デイサービス等まだ多くの方に知られていないので、情報発信するとよいと思います。
- ・特別な支援を必要とする子どもの保護者への取組方について。

3章 障害

- ・障害をもった方の支援が行き届いていない。障害福祉サービスを利用する手立てがわからない人が多い。
- ・障害者サービスと高齢者サービスの狭間になるようなケースの相談先に迷うことがあります

- す。(若年の認知症、高次脳機能障害など)
- ・身体障害者の復職・就職支援（高次脳機能障害等）
- ・持病があり、仕事を継続しがたい状況にある方への支援があるのかも分からない。
- ・酸素使用者や障害のある方の避難方法や避難場所の確保。一般の人と同じ場所 or 専用の場所。
- ・障害に対しての介護者やケアマネが相談して（電話）アドバイスを頂ける体制を作ってほしい。
- ・外国人労働者への対策
- ・頻度は少ないが、ろうあの方の受診相談があり、手話ができるスタッフがいないため、断らざるを得なかった。
- ・施設の送迎が対応していない場所で、公共交通機関が通っていない場合の通所方法。
- ・中高年のひきこもりに関わる専門機関の不足
- ・障害者手帳を持っているが支援につながない人への関わり、また障害の疑われる人への関わりをどうするか。
- ・精神障害者の退院や就労支援
- ・生保で独居の場合、支援がむずかしい。入れるところが少ない。
- ・手帳は持たれているが、福祉サービスになかなかつながらないケースがある。
- ・8050、7040 問題に対しての課題解決のための関係機関の連携体制ができていない。
- ・福祉サービスの活用。連携の仕方がよく分からない。
- ・豪雨や台風などで身動きがとれない1人暮らしの障害者のための福祉避難所を掲載してほしい。
- ・障害者手帳は持っても、どんなサービスが受けれるのか聞く機会もなければ教えてくれるチャンスもなく、損をしている方がいる。
- ・移動支援利用で、何でもしてもらえするという方も多く、対応が難しい。
- ・家を借りる際に、アパマンショップを利用したが、精神科の患者ということで断られた（「検討させてください」の後、連絡がない）。偏見というか権利の保障がない感じがする。

- ・入所施設でのコロナによる外出や面会などの制限のあり方

4章 高齢

- ・高齢者サービス事業所一覧（デイサービス等）において、要支援の方、要介護の方を比べた時、利用時間に違いがある場合は提示していただくとありがたい。記載のあるところとないところがあるため。
- ・認知症の独居の方の金銭管理の方法や手段について、かけはしや成年後見制度以外の情報を知りたい。
- ・浴槽のタイプが分かれば、施設入所検討に役立つと思います。
- ・市内各地域におけるサロン活動状況、内容、マップなどの情報提供。
- ・独居、認知症患者が増えている。どこに相談をもっていったら良いか分からない時がある。
- ・支援を必要としている高齢者を適切なサービスへつなげる最初の窓口は一体どこなのか、殆どの方が知りません。
- ・認知症の進行に伴うサービス利用時期について相談。
- ・施設入所の際の費用の一覧、空き情報が欲しい。（施設入所は高額なので、病院（精神科）への入院を希望される家族もあり）
- ・高齢者の交通手段
- ・とくし丸など移動販売も徐々に広がりつつあるが、全ての地域をまわってくれるわけではなく、買い物、特に移動で困っている高齢者が多い。（バスはステップの上がり下りが大変。バス停まで遠い。タクシーは金銭面で頻回は難しい）
- ・介護が必要になった場合に、気軽に相談できる窓口がない。介護者に周知されていない。
- ・8050 問題への対応
- ・施設入所すると高額で支払いがむずかしい人もいる。安く入れるところがあればよい。
- ・施設入所に実際必要な費用が分かりにくい。
- ・高齢者の支援内容が分かりにくい。
- ・障害福祉サービスとの兼用についてがよくわからない。

- ・例をみて思ったのが、たしかに施設入所の費用わかりにくいです（相談けっこうあります）。はっきりわかる資料があると助かる。サ高住や有料老人ホームだけでなく、老健、特養、グループホーム
- ・運転免許証返納者に対する支援を充実させる。
- ・高齢者の移動手段（タクシーがないと）
- ・高齢の方が気軽に利用できる送迎サービスの充実（介護タクシーが少なく、限界がある）
- ・高齢者などの交通手段がないこと。すべて三原駅に一旦行くので便が悪い。
- ・市街に全てが集まっており、山間部の公共交通機関が少なく、不便。高齢者の交通手段が限られている。
- ・要支援の方や認定を持っていない方が地域交流を行いたい時に利用する資源が少ない（サロン等）
- ・介護タクシーが少ないため、急な手配が必要な時困る。
- ・買い物する場所がない方がいる。高齢者の方で移動手段がない方がいるので大変です。
- ・佐木島の利用者が利用できるサービスが少ない。
- ・島に住んでいる高齢者が多いので、島の中の医療や福祉の充実。
- ・島の方は社会資源も少ないし介護保険サービスの選択肢も少ない。島内以外の通所系サービスへ通いたい人は自分で通所先まで行っている。（数が少ないから港までの送迎も無理なのか、頼めば何とかしてくれるのかは不明。そもそも自力で自宅から港へ行き船に乗って三原まで来れる人なので限られる）
- ・高齢、認知症のある方のごみすて対応に困ることが多々ある。（地域によって対応差がある）
- ・高齢者世帯等、庭まわりの整備、草刈り等出来なくて困っている方がおられるが、シルバーは料金が高いと聞く、何か支援ほしい。
- ・市内中心部には食料品等の店はあるが、大型団地も含め、市周辺部には店が少なく、高齢者が困っている。
- ・糸崎の方にはスーパーがなく、徒歩の高齢者は生活しにくい。
- ・介護付き有料老人ホームがない。
- ・最近の入所相談が増えました。受入可能な施設が少なく、高額であるため、選択肢が少ないと思う。（サ高住、グループホーム、有料老人ホーム）
- ・北部地区に小規模、GHが1か所しかなく、高齢者が選択できない。
- ・施設サービスや在宅系サービスの選択肢が少ない。
- ・入所施設が少なく限られている。
- ・高齢者の入居できるサ高住施設の選択肢が少なすぎる。
- ・独居老人が多い地域は、食事や移動の手段が限られている。
- ・家族のいない高齢者が認知症になった時
- ・高齢者への話し相手のサービスが不足。
- ・独居認知症のサービスがない。
- ・ADLが自立していて予防的に介入が必要な人への支援
- ・地域によって介護予防での取り組みが遅れているところがある。
- ・男性が通いやすいサロンが少ないように思う。
- ・介護保険や医療保険を使ってサービスを受けられることすらご存知ありません。
- ・看護技術を提供するのみが訪問看護ではありませんので、体調不良があり生活が困難になっている方等、一見、看護師の介入は必要ではないように思える方でも、相談員さんやケアマネさんは訪問看護ステーションに訪問してほしいです。看護師の介入で解決できる事が沢山あります。体調が整うと生活の質が上がり、予防が可能です。
- ・受診する時、高齢ドライバーの問題がある。
- ・独居住まいで、家族が遠方にいる方の支援をどうするか。
- ・男性介護者のバックアップ。
- ・8050問題、患者のキーパーソンとなる人がひきこもり中高年の子どもしかいない場合の相談先。
- ・施設入所の順番がなかなか来ない。
- ・施設入所の待機期間が長い。
- ・有料老人ホームの支払いが重度になっていく

につれ高くなり、家族の負担が増える。特養の申込はしていても順番が来ない。

- ・ 経済的にゆとりのない方の入所施設があっても、認知症や精神疾患の受け入れが難しかったり、順番待ちでなかなか入れない。社会的入院になる。
- ・ 成年後見やかけはしにつながらない利用者への支援
- ・ 経済的問題で、必要なサービスを使えない方がいる。
- ・ (認知症) 行方不明者ゼロが目指せないか。ソフト面・ハード面の取組が全市的に広がって欲しい (IGT、GPS 等の活用)
- ・ お年寄りのごみ出し難民が多い。朝早に対応となると支援ができないケースがふえている。
- ・ 施設等の利用料を聞かれることがあるが、分からないので困りやすい。
- ・ 独居、老老介護で家族が遠方。
- ・ コロナ感染防止に取り組みながら、利用者の支援を行う中で、実際施設で感染者が出た場合、一人暮らしの利用者の支援をどうやって行っていくのか不安がある。
- ・ 居宅の新規依頼が特に HP、ENT 時は急な対応をせまられることがあるので時間に余裕がない。
- ・ 施設入所費用が高い。
- ・ 施設の費用や特色が分からないため、説明しにくい。

5章 地域

- ・ 交通機関 (タクシー) の情報ページがほしい。
- ・ 災害時の福祉避難所について、施設が一覧されていてわかりやすいが、住所は掲載されていますが、電話番号ものせてもらえたら見やすいと感じた。
- ・ 糖尿病食など、冷凍でない弁当の個配があればよい。
- ・ 配食サービス (特に特別食) のサービスの支援が三原市にない。
- ・ インフォーマルサービスの充実と支援
- ・ 近年、災害が増えてきています。ハザードマップや災害種別ごとの避難先等、住んでいる

地域ごとにわかりやすく記載して頂けるとありがたいなと思います。(福祉避難所についての記載、大変有り難いです)

- ・ 腎臓病、糖尿病の方の給食 (配食) サービスがあるとおすすめしたいと思う。
- ・ 治療食の対応ができる配食業者が限られており (エリアの問題もあり)、また費用も高いため利用しにくい。
- ・ 治療食の配食サービスが地域が限られている。
- ・ 糖尿病食をはじめとした、やわらか食など配慮のある食事の情報がほしい
- ・ 糖尿病食等の配食サービスの情報が欲しい。
- ・ 糖尿病食、透析食の配食情報が欲しい。
- ・ 配食サービスの情報がほしい。(配達エリア外とか結構ある)
- ・ 減災の取り組みで、マップ上に避難場所を示す。
- ・ 一人暮らしの方が多くなり、買い物が困る。買い物支援の方法について。→移動販売の情報が不足している。
- ・ 配食サービスの柔軟な対応 (刻み食等) 尾道の業者に頼っている
- ・ インフォーマルサービスが利用しづらい。社協サービス、やすらぎ支援 (制限が多い) を利用者に説明しづらい。
- ・ 三原市北部は、市内より、世羅や東広島市、御調 (尾道市) に依存する部分が多いが、総合事業や地域密着、交通サービス等において、行政の壁がある。(仕方ないとは思いますが)
- ・ 離島 (鷺) の高齢者、障害を持たれる方が十分な支援を受けれているのか?
- ・ 独居世帯が多いため、万が一の際に持病等を予め把握できておらず困ることがあった。
- ・ キーパーソン不在のケース
- ・ 遠方の家族の支援不足
- ・ 糖尿病食等、療養食の配食サービスの情報がほしい。
- ・ 配食サービスがよく分からない。
- ・ 1人暮らしで治療食を必要とされる方にどんな宅配サービスがあるのか、どの地域まで対応できるか知りたい。金額なども。
- ・ 他機関につなぐ場合、どこへつないだらよいか、情報の整理が追いついていない。

- ・ 民生委員の情報がわかりにくい。連携しにくい。
- ・ 必要時、災害時の利用者の避難場所、所在の情報

- ・ 災害に備えた治水事業の拡張
- ・ 施設入所できる条件、対象者が分かりづらい。
- ・ 施設入所に必要な費用がわかりにくい。
- ・ 市役所ホームページの生活支援サービスの説明を詳しく記載して欲しい。
- ・ 施設入所に伴う費用の詳細が分からない。
- ・ 自助、互助、共助、公助、それぞれが十分な役割を持つとともに、適切な連携ができるようにすべき。

その他

- ・ 糖尿病食やキザミ食等の配食サービスの情報が欲しい。
- ・ 日曜日に利用可能な通所サービスが少ない。

Q5 新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、業務上の支障がありましたか。個人情報に配慮した上でご自由に記入してください。

例えば、不利な状況になった利用者がいた、物資の偏りがあった、他機関との連携に難しさがみられたなど。

222 件の回答が寄せられました。

内容は、

- 1. 面会や接触の制限、 2. 利用者の体調・状態悪化、 3. 支援が進めにくい、
 - 4. サービスの衰退、 5. 負担増加 6. 今後の不安 7. 物資の問題
- など多岐に及んでいました。

Q6 回答者の方についてお尋ねします。

所属機関の種別（複数あてはまる方は最も活動頻度の高いものを1つ選んでください。）

- 1. 病院 **35** 2. 診療所 **16** 3. 歯科診療所 **11** 4. 薬局 **17** 5. 訪問看護ステーション **13**
- 6. 医療機関デイクア **5**
- 7. 地域包括支援センター **19** 8. 居宅介護支援事業所 **37** 9. 高齢者サービス事業所 **40**
- 10. 相談支援事業所 **10** 11. 障害児サービス事業所 **6** 12. 障害者サービス事業所 **30**
- 13. 行政機関 **14** 14. 保育所 **6** 15. 幼稚園 **1** 16. 小学校 **9** 17. 中学校 **3** 18. 高等学校 **0**
- 19. 特別支援学校 **1** 20. その他（警察 **9**、放課後児童クラブ **7**、図書館 **2**、元歯科医院 **1**、消防 **1**、タクシー **1**、など）

職種（主業務を行っているものを1つ選んでください）

- 1. 医師 **9** 2. 歯科医師 **10** 3. 薬剤師 **17** 4. 保健師 **15** 5. 看護師 **24**
- 6. 介護支援専門員 **34** 7. 主任介護支援専門員 **16** 8. 相談支援専門員 **18**
- 9. 社会福祉士 **28** 10. 精神保健福祉士 **16** 11. 介護福祉士 **28**
- 12. 事務職 **6** 13. 保育士 **10** 14. 教員 **12** 15. 民生委員 **実施なし**
- 16. 他（支援員<支援相談員、生活支援員、職業支援員、相談員含む> **13**、警察官 **9**、児童クラブ指導員 **6**、作業療法士 **4**、管理者 **4**、理学療法士 **3**、サービス管理責任者 **2**、図書館司書 **2**、介護職 **1**、救急救命士 **1**、タクシー **1**、など）

年代（例：45歳は「40代」）

中央値 40 代

性別

男性 **99** ・ 女性 **200**

現職種の経験年数

中央値 12 年目

アンケートのご協力ありがとうございました。
新訂4版にご回答を反映できるよう取り組んでいきます。